

鉄鋼業における 「神戸宣言」に関する 今後の取組について

2023年 3月10日

一般社団法人 日本鉄鋼連盟

J.I.S.F. 日本鉄鋼連盟
The Japan Iron and Steel Federation
<http://www.jisf.or.jp>

Copyright ©The Japan Iron and steel Federation All Rights Reserved.



製造業安全対策官民協議会 (一般社団法人 日本鉄鋼連盟)

I. 鉄鋼業における休業以上労働災害 の現況

II. 日本鉄鋼連盟における「神戸宣言」 に関する今後の取組

休業以上労働災害と重大（死亡）災害の発生推移

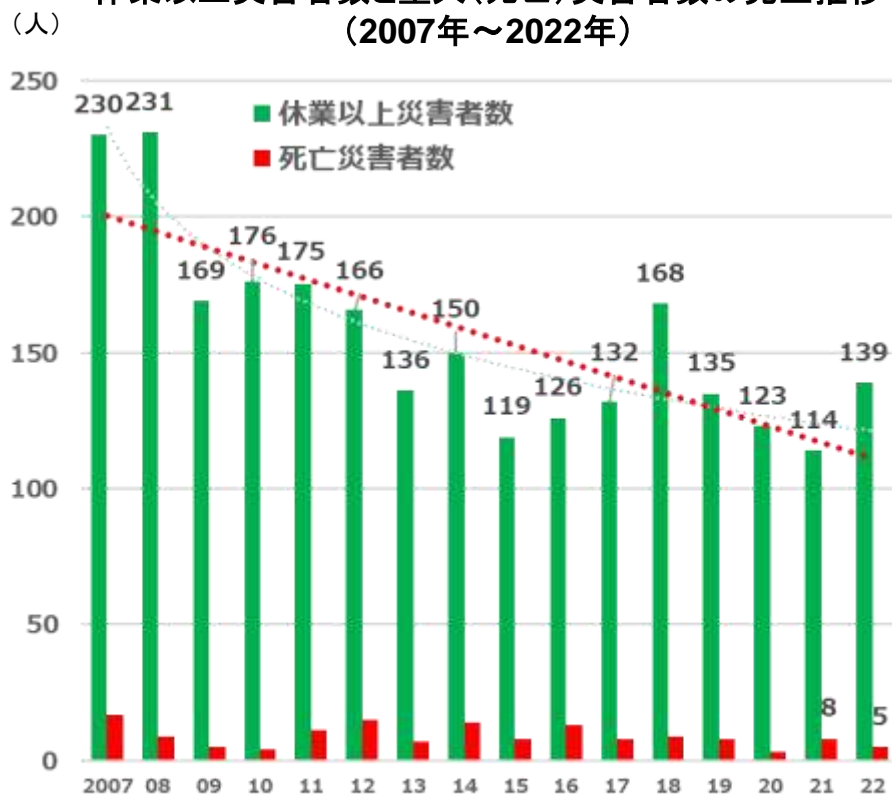
(1) 休業以上災害件数の発災推移

- ・2022年は139件 年比では+21.9%(+25人)と、4年振りに増加
- ・2008年の231件からは総じて減少・改善傾向 ※ 2021年は統計開始(1980年以降)では、過去最少労災人数

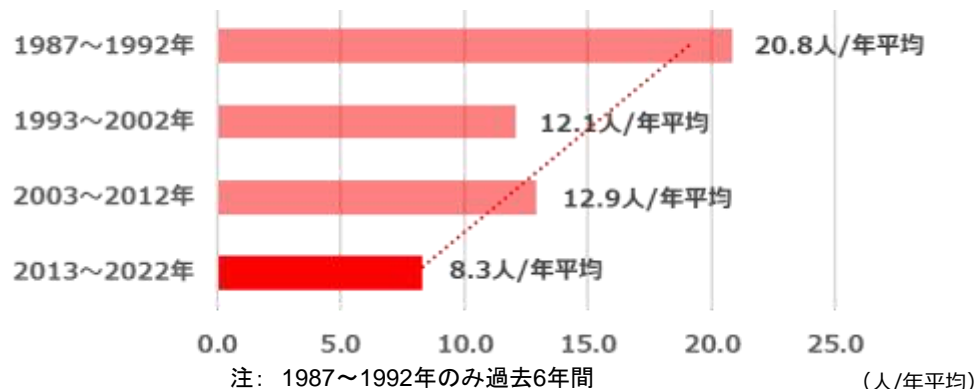
(2) 重大(死亡)災害の発生推移人数

- ・2022年は5人 前年比▲3人の減少 10年単位ベースでも、8.3人/年(2013～2022年)と着実に漸減傾向
- 今後引き続き重大死亡災害ゼロに向け、直協一体となって安全衛生水準のレベルアップを図っていく

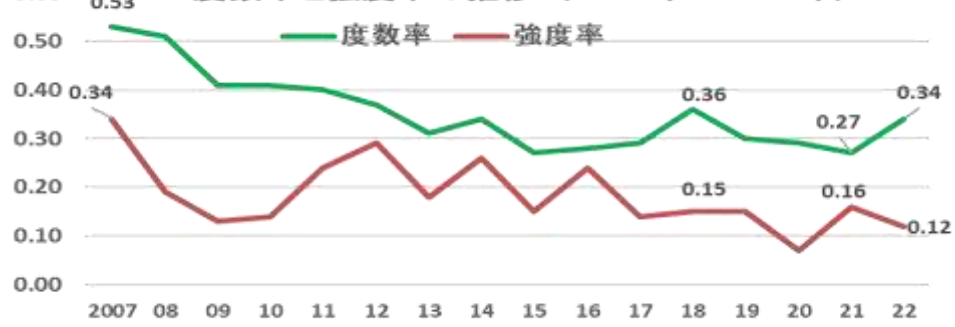
休業以上災害者数と重大(死亡)災害者数の発生推移
(2007年～2022年)



重大(死亡)災害の過去10年毎の年平均死亡者数



度数率と強度率の推移 (2007年～2022年)



「神戸宣言」 (製造業安全対策官民協議会：2017年10月策定)

1. 経営層のコミットメント

経営層がリーダーシップを発揮しつつ、安全担当や製造担当と接触し、かつ、常に現場の声を反映できるような体制の強化

2. 最新技術の安全対策への活用・投資

設備の老朽化等の厳しい現状がある一方、技術革新を生かした新たな取組も進んでいることを踏まえた、安全への投資の促進

3. 安全教育の拡充

ベテラン職員の減少、業務アウトソーシングの増加などの環境変化を踏まえた、階層別、協力会社を含めた安全人材の育成や安全教育の拡充

4. 重点的な課題への対応

重点的に取り組むべき課題を抽出し、その原因・対策などを検討し、検討結果を業界内外に共有

1. 経営層のコミットメント

2023年 一般社団法人 日本鉄鋼連盟
北野 嘉久 会長 年頭挨拶

(JFEスチール株式会社 代表取締役社長)



出所：（一社）日本鉄鋼連盟HP

安全衛生活動の一層の深化

昨年の重大災害件数は5件と、一昨年の8件からは減少しましたが、「安全は全てに優先する」との基本理念のもと、労働安全衛生を最重要課題に位置付け、「作業現場に潜む如何なるリスクも見落とすことなく、重大災害ゼロ」に向けて労働災害の未然防止に資する安全対策に関する様々な取り組みを直営・協力会社一体となって、より一層果敢に推進してまいり所存。

現場での安全作業を確保・支援するために、安全対策に関する鉄鋼業界共通の管理指針の周知・改定やリモート形式での全国大会・各分科会等の開催を通じて、階層別の安全教育や業態別・地域別での労働災害の未然防止に資する活動を間断なく遂行・展開してまいります。

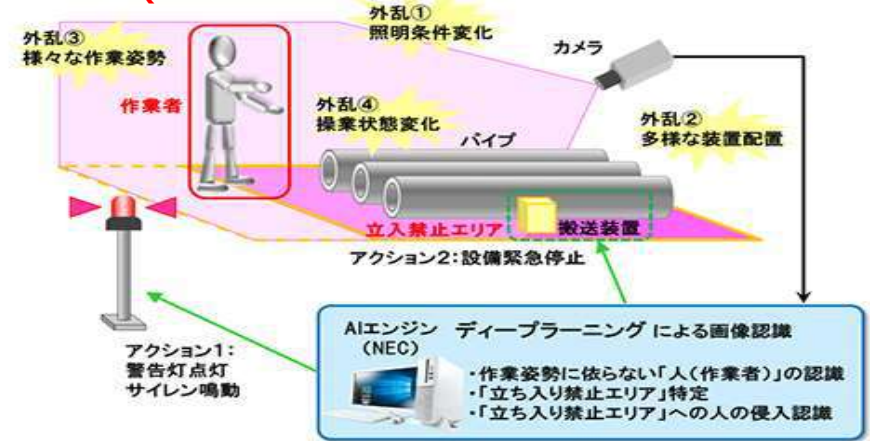
また、海外等における先進的な取り組み事例等の会員各社へのフィードバック等を通じ、引き続き安全衛生活動の一層の水準向上を図っていく。

2. 最新技術の安全対策への活用・投資

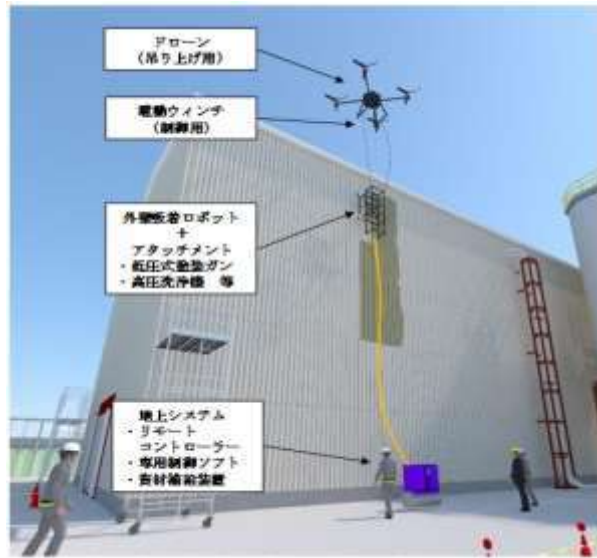
① 小型ドローンによる大型構造設備の点検・整備 (高所作業における墜落・転落災害等の未然防止)



② AI画像認識による安全行動サポート技術導入 (挟まれ・巻き込まれ災害の未然防止)



③ ドローンによる壁面塗装補修 (実証実験) (高所作業における墜落・転落災害の未然防止)



④ 見守カメラによる原料輸送作業の安全支援 (1人作業時の挟まれ・巻き込まれ、崩壊・倒壊等の未然防止)



⑤ 鉄スクラップのAI検収システムによる検収作業の安全・効率化 (墜落・転落等の未然防止)



3. 安全教育の拡充

1) 鉄鋼安全管理者研修会

- ◆休業以上労働災害の発生状況とその特徴と課題のほか、ヒューマンエラー対策等について講義・グループ討議

2) 安全衛生初期教育プログラム

- ◆ヒューマンエラーに関するリスク、KY等に関する講義
- ◆動画KY（危険な作業の再現VTRを元にしたKYトレーニング）とグループ討議

3) 夏季安全衛生研修会・全国安全衛生大会

- ◆親事業所・協力会社・安全協会の参加による全国規模の大会を開催し、“直営・協力会社”一体となった安全対策を推進
- ◆“挟まれ・巻き込まれ”等の類似災害の対策好事例の発表報告や、安全対策に関する広範な視点（学会、研究機関、コンサル、落語等）からの特別講演等

4) 産業衛生運営委員会、等

- ◆健康障害未然防止全般に関する課題、検討テーマ（新型コロナ、腰痛、喫煙、熱中症、化学物質管理、高齢者ロコモ対策等）について討議・審議
- ◆産業医分科会、衛生担当者分科会での検討テーマ選定、運営等について対応

4. 重点的な課題への対応

1) 安全衛生推進本部長名での緊急要請文の発出

- ◆ 重大災害が、一定の期間内に複数発災する等の非常時においては、本部長名での緊急要請文を加盟各社宛てに緊急発出し、重大災害に係る類似災害の確実な未然防止に向け、必要な安全対策の一斉再点検など、安全な作業の確保に向けた再徹底を緊急要請する



2) 労働安全衛生マネジメントシステムの認証取得、等

- ◆ 労働安全衛生マネジメントシステム「ISO45001（JISQ45001）」の認証については、既に日本製鉄（株）、JFEスチール（株）、新日本電工（株）等の各事業場で既に認証を取得済みである
- ◆ 最新のマネジメントシステムの仕組みを安全の活動・取組に組み入れることにより、今後も更なる活動・取組の深化が期待される

【 総 括 】

- 鉄鋼業界では、**重大災害ゼロ**を**最重要ミッション**として今後も活動を間断なく推進していく
- **重大災害を起こさない、発生させない**ことを最優先に、**機械安全の本質化**を更に進めるとともに、**直営・協力会社一体**となった安全な作業への取組を徹底し、着実に推進していく